

中学校社会科歴史的分野学習指導案

1. 小単元 「江戸幕府の成立」

2. 目 標 幕府が諸大名に命じて作らせた国絵図を見てその地図の特色を明らかにしていくことによって、江戸幕府が諸大名を統制するためにその経済力や支配地の特徴を把握しようとしたことが分かる。

3. 学習の展開

過程	学習活動	教師の指示・予想される生徒の回答	指導上の留意点
導入	1. 学習課題の確認	○絵図を提示して、いつ誰が何のために描かせたものかを考えさせる。 ・「大名が、自分の支配しているところを把握するため」等。 課題：絵図に描かれていることを読み取って、何のための地図かを明らかにしよう。	・備前慶長国絵図を提示する。
展開	2. 絵図について気付いたことを発表する。	○この絵図に描かれているものは何か。 ・山、川、城、村や郡の名前、方位等。 ○この地図の特徴は何か。 ・郡ごとに色分けされている。 ・山の形が描かれている。 ・道は細い線になっている。 ・村や郡の名前が記されている。 ○この地図は何のために使われたのだろうか。 ・道は細い線でしか描かれていないし、形もいびつなので位置や場所を知るためには使えそうにない。 ・郡や村の名前はしっかりと描かれているので、村等の名前を知ることができる。 ・名所や特産物も描かれていないので観光案内にも役立たない。	・必要に応じてグループ学習にする。
	3. 絵図を描かせた人を推測する。	○この地図は誰が描かせたものだろうか。 ・村の名前を知る必要があったのは大名ではないか。 ・大名は分かっていたはずだから、幕府が大名に命じて描かせたのではないか。 ○幕府はなぜ大名にこのような絵図を描かせたのか。 ・大名の支配地を把握するためではないか。 ○絵図が作成された年代を考えると、絵図を作成するように命じたのは誰と推測されるか。 ・徳川家康かも知れない。 ○支配地を把握するだけで十分だったか。 ・当時の経済的基盤は農民からの年貢であった。そのため、幕府は各大名の石高を把握しておく必要があった。それは村ごとに作成された検地帳によって把握されていた。この国絵図にも郡ごとの石高が記されており、幕府は諸大名の経済的な力を把握することができた。	・生徒にとって難しいようであれば、太閤検地について補足説明をする。
終結	4. 江戸幕府の大名支配の仕方と関連付けて、国絵図作成の目的について考えをまとめる。	○国絵図作成の目的について考え方をまとめる。 ・江戸幕府が諸大名の支配地や経済力を把握するために描かせたものであると推測される。	